

令和8年度

安全功労者総務大臣表彰

消防功労者総務大臣表彰

令和8年7月

消 防 庁



## 1 安全功労者総務大臣表彰受賞者（個人の部）

- 加藤 憲一（福島県・喜多方地方消防防災協会 顧問） ----- 1
- 塚原 義太郎（栃木県・小山地区防火安全協会 副会長）
- 並木 重和（埼玉県・新座市防火安全協会 会長） ----- 2
- 飯島 恵津子（東京都・滝野川防火防災女性の会 会長）
- 佐々木 好子（東京都・本所防火女性の会 会長） ----- 3
- 安藏 誠市（東京都・光が丘防火管理研究会 会長）
- 上田 和男（岐阜県・大垣危険物安全協会 会長） ----- 4
- 東 繁代（岐阜県・白川村女性防火クラブ 会長）
- 松井 康信（岐阜県・一般財団法人岐阜県消防設備協会 部会長） ----- 5
- 那須野 孝之（静岡県・御殿場市小山町防火安全協会 顧問）
- 塩見 政勝（京都府・福知山市危険物安全協会 会長） ----- 6
- 嶋田 豪洋（大阪府・西防災協会 会長）
- 多田 龍弘（大阪府・生野防火協力会 副会長） ----- 7
- 吉田 誠（大阪府・東大阪市西防火協力会 副会長）
- 橋本 英明（広島県・福山市東防火協会 会長） ----- 8
- 和崎 法子（山口県・武久地区女性防火クラブ 会長）
- 梅崎 輝繁（福岡県・柳川市防災協会 監事） ----- 9
- 佐田 文夫（福岡県・三井・小郡地区防災協会 会長）
- 富永 新三郎（東京都・荒川防火管理研究会 会長） ----- 10
- 二宮 小百合（愛媛県・愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会 理事）

## 2 安全功労者総務大臣表彰受賞者（団体の部）

- 城前寺保育園幼年消防クラブ（神奈川県） ----- 11
- 大商化成株式会社（大阪府）

- にほん 日本スピンドルせいぞうかぶしがいしゃ製造株式会社（兵庫県） ----- 12
- みょうだにちく 名谷地区防災福祉コミュニティ（兵庫県）
- かすやほくぶちく 柏屋北部地区防災協会（福岡県） ----- 13
- あぶらぎとうぶだい 油木東部第1・第2女性防火クラブ（長崎県）
- かぶしがいしゃ 株式会社フジバンビ（熊本県） ----- 14
- かなまちぼうか 金町防火管理研究会（東京都）
- いっばんしゃだんほうじんしがけんぼうかほ 一般社団法人滋賀県防火保安協会連合会（滋賀県） ----- 15

### 3 消防功労者総務大臣表彰受賞者（消防団員）

- たなか 田中 じゅんいち 純一（北海道・釧路北部消防事務組合標茶消防団 団長） ----- 16

### 4 消防功労者総務大臣表彰受賞者（女性防火クラブ員）

- あんようじ 安養寺 こ のり子（高知県女性防火クラブ連絡協議会 副会長） ----- 17
- さとう 佐藤 きくこ 菊子（岩手県女性消防連絡協議会 副会長）
- てら 寺崎 いきえ いくえ（富山県女性防火クラブ連絡協議会 会長） ----- 18

# 安全功労者総務大臣表彰を受賞した個人及び団体

## 個人の部

かとう けんいち  
○加藤 憲一

福島県・喜多方地方消防防災協会 顧問

平成 15 年に喜多方地方消防設備等協会理事に就任し、平成 18 年には副会長、平成 25 年から平成 26 年まで会長として、高い見識と卓越した指導力により会の充実と育成発展に尽力した。

さらに、平成 26 年の喜多方地方消防防災協会設立には発起人の一人として携わり、設立以降令和 7 年 3 月まで副会長の立場から同協会を管理監督し、喜多方地方の地域防災力の向上に寄与した。

また、平成 25 年から平成 31 年まで一般社団法人福島県消防設備協会の理事及び副会長の要職に就き、福島県内における保守点検業務等の適正な事業推進に多大な貢献をしている。

つかはら よしたろう  
○塚原 義太郎

栃木県・小山地区防火安全協会 副会長

令和 5 年 1 月、小山地区防火安全協会の前身である小山地区危険物保安協会（昭和 34 年 5 月 11 日設立）の会長に就任し、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。

小山地区危険物保安協会は、小山市防火管理協会（昭和 47 年 5 月 10 日設立）と合併し、令和 8 年 5 月、小山地区防火安全協会が設立されたが、この新協会設立に尽力し、副会長に就任した。

これまで主に危険物の保安管理に尽力し、危険物施設消防訓練、危険物事故防止講演会、消火器取扱説明会及び消火実技競技会を企画、運営する等、消防・防災のリーダーとして活動してきた。地域住民、事業所からの信頼も厚く、安全安心な地域社会の実現に多大な貢献をしている。

なみき しげかず  
○並木 重和

埼玉県・新座市防火安全協会 会長

平成 21 年 5 月、新座市防火安全協会副会長に、また、27 年 5 月には会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くしている。

消防機関及び関係団体と連携した活動を通じて会員相互の融和親睦を図り、危険物施設における安全管理や事故防止の普及啓発活動に積極的に取り組んでいる。地域住民からの信頼も厚く、安全・安心な地域づくりの推進に多大な貢献をしている。

また、令和 5 年に（公社）埼玉県危険物安全協会連合会の監事、令和 6 年に理事に就任し、県域における危険物の事故防止と安全管理体制の確立においても多大な貢献をしている。

いじま えつこ  
○飯島 恵津子

東京都・滝野川防火防災女性の会 会長

平成 16 年、滝野川防火防災女性の会会長に就任し、女性の視点で防火防災意識の高揚を図ることを目的として下記の活動を行っている。

春と秋の火災予防運動では、地域住民に積極的に火災予防を呼びかける巡回広報を自らが先頭に立って行うとともに、応急救護・救命技能の維持向上のため、新規会員を対象とした救命講習や現会員を対象とした計画的な再講習の開催に努めている。また、防災訓練・消防演習では、初期消火訓練を担当し、自らのまちは自らで守るという信念のもと自主防火防災能力の向上に努め、会長に就任以来、防災意識の普及・啓発活動のために防災関連施設の視察研修会を毎年行い、地域の防火防災意識の高揚に多大な貢献をしている。

○<sup>さ さ き</sup>佐々木 <sup>よしこ</sup>好子

東京都・本所防火女性の会 会長

平成 20 年に本所防火女性の会会長に就任して以来、強い責任感と卓越した指導力をもって会の運営に尽力し、会員から深い信頼と厚い支持を集め、会の育成発展に大きく貢献している。

この間、家庭及び地域における防火防災思想の普及と防災行動力の向上を目的として、防災関連施設等の視察研修会を積極的に企画・実施するとともに火災予防運動時には巡回広報を行うなど、実践的な活動を精力的に展開している。

また、本所防火防災協会副会長を務めるなど幅広く活躍し、会員のみならず地域住民からの信頼も厚く、安全で安心な地域社会の実現に向けて多大な貢献をしている。

○<sup>やすくら</sup>安藏 <sup>せいち</sup>誠市

東京都・光が丘防火管理研究会 会長

平成元年の発足時から光が丘防火管理研究会の監事、副会長を歴任後、平成 24 年 5 月から会長に就任し、会員からの深い信頼を集め、高い識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽力している。

この間、消防行政への深い理解のもと、光が丘消防署や消防関係団体と連携し、各種行事に協力して地域の防火防災思想の普及徹底に努め、リチウムイオン電池に係る火災予防広報やマイ消火器の設置促進広報をはじめ、幼少年に対する防火防災教育にも積極的に参画するなど、火災予防を推進した功績は誠に顕著であり、安心・安全な地域社会の実現に向けて多大な貢献をしている。

うえだ かずお  
○上田 和男

岐阜県・大垣危険物安全協会 会長

平成 30 年、大垣危険物安全協会会長及び西濃地区危険物安全協会会長に就任し、地域における危険物保安管理体制の充実強化に尽力している。危険物取扱施設における自主保安意識の高揚を図るとともに、関係事業所に対する指導・啓発活動を推進し、地域の保安水準の向上に寄与している。また、講習会・研修会の開催や広報活動を通じて、地域住民及び関係事業者への普及啓発を継続的に行い、危険物に起因する事故の未然防止に貢献している。また、令和 2 年 4 月からは一般社団法人岐阜県危険物安全協会会長に就き、県内各協会の連携強化に尽力し、統一的かつ効果的な保安活動の推進に中心的な役割を果たすなど、多大な貢献をしている。

ひがし しげよ  
○東 繁代

岐阜県・白川村女性防火クラブ 会長

平成 17 年 4 月に白川村女性防火クラブ副会長に就任し、令和 4 年 9 月に会長に就任し現在に至る。

以来、初期消火活動の重要性を認識し、消火器の普及に尽力するとともに、消火器の取扱訓練を実施して、主婦の初期消火技術の向上を図るほか、住宅火災警報器の普及啓発活動や防火教室を開催するなど、防火思想の高揚と白川村の火災の減少に多大な貢献をしている。

まつい やすのぶ  
○松井 康信

岐阜県・一般財団法人岐阜県消防設備協会 部会長

平成 18 年 5 月から平成 20 年 5 月まで、一般財団法人岐阜県消防設備協会の前身である財団法人岐阜県消防設備保安協会の理事に就任、平成 24 年 5 月理事に再任、平成 30 年 7 月から一般財団法人岐阜県消防設備協会の部会長に就任して以来、火災から生命及び財産を守る消防用設備等の適正な設置、維持管理において消防、電気、ビルメンテナンス等の関係業界との連携を深め、これら事業者の健全な経営とその従事者の責任感や使命感の醸成、資質の向上に努めるとともに、人々が安心して暮らせる安全な地域社会と環境づくりに励んだ功績は、誠に顕著である。

また、令和 4 年 5 月、大垣市指定管工事協同組合の理事長に就任し、南海トラフ地震など大規模な災害に備え、地域を代表する企業として市民生活に多大な影響を与える水道施設等の応急復旧に関し、積極的に取り組んでいる。

なすの たかゆき  
○那須野 孝之

静岡県・御殿場市小山町防火安全協会 顧問

平成 16 年 4 月に御殿場市小山町防火安全協会の副会長に就任する。また、平成 22 年 4 月には会長に就任して以来、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くし、令和 8 年 4 月から同協会の顧問に就任する。

さらに、同協会の事業活動を通して、防火思想の普及・啓発に尽力し御殿場市、小山町の消防・防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

しおみ まさかつ  
○塩見 政勝

京都府・福知山市危険物安全協会 会長

平成 25 年から福知山市危険物安全協会副会長に、また、平成 27 年には福知山市危険物安全協会会長に就任し、現在に至るまでその重責を担っている。

危険物施設における安全管理や設備の維持管理、保安体制の充実にも積極的に取り組み、関係機関や事業所と連携しながら、事故防止に大きく寄与した。その献身的な活動は、地域社会の安全・安心の確保に大きく貢献をしている。

氏の功績は、危険物の安全確保と地域防災体制の充実に寄与するものであり、多大な貢献をしている。

しまだ ひでひろ  
○嶋田 豪洋

大阪府・西防災協会 会長

平成 11 年、鳳防火管理者研究会理事に就任し、平成 16 年に西防火管理者研究会へと名称変更と同時に同会副会長に就任、平成 18 年に西防災協会への統合と同時に同協会理事に就任、平成 28 年に副会長、令和 4 年に会長を歴任し、現在に至るまで多年にわたり、豊富な識見と卓越した指導力により会の育成発展に尽くした。

また、平成 28 年 4 月には幼年消防クラブ推進委員会の会長も就任されるなど、各種の消防関係団体の要職に就き、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力し、堺市西区はもとより堺市全市の消防・防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に貢献している。

○<sup>ただ</sup>多田<sup>たつひろ</sup>龍弘

大阪府・生野防火協力会 副会長

平成5年5月1日より生野防火協力会計監事に、平成16年6月1日に副会長に就任し、長きにわたり会の育成発展に多大な役割を果たしている。地域の明るい街づくり、また、公共の安全確保のため精力的に活動し、その温厚な人柄、卓越した見識と優れた指導力をもって地域の事業所、地域の住民の防火防災意識の高揚のため、積極的に本会の育成及び充実発展に尽力するとともに、消防署が行う諸施策の支援を積極的に行い、消防行政の円滑な推進に尽力し、その他の協力団体と共に地域社会の安全保持のため、公私多忙の中、多大な貢献をしている。

○<sup>よしだ</sup>吉田<sup>まこと</sup>誠

大阪府・東大阪市西防火協力会 副会長

平成23年4月に東大阪市西防火協力会理事に就き、常任理事を経て、平成31年4月に東大阪市西防火協力会副会長に就任、豊富な識見と卓越した指導力により、会の育成発展に尽くし、火災予防啓発、防火安全及び危険物災害防止指導等、自ら先頭に立って積極的に会員事業所及び地域住民に呼びかけるなど、市民の防災意識の高揚に努めている。

さらに、平成31年4月には東大阪市防火協力会連絡協議会理事に就任され、管内のみならず市内全域の防火思想の普及・啓発に尽力され、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をしている。

はしもと ひであき  
○橋本 英明

広島県・福山市東防火協会 会長

平成 17 年に福山市東防火協会春日支部の副支部長に就任以来、今日まで、東防火協会春日支部支部長、東防火協会副会長及び福山市防火協会連合会理事、令和 7 年に福山市東防火協会会長及び福山市防火協会連合会副会長の要職を歴任、その間、防火協会の運営に積極的に携わり、焼死火災撲滅として住宅用火災警報器設置等の推進、住宅防火の推進として秋・春の火災予防運動期間中に関係機関と連携して街頭広報や防火教室等の実施、初期消火技術の向上のため訓練用水消火器を使用したの消火訓練の実施等、常に熱意をもって防火・防災思想の普及徹底並びに消防力の充実強化に尽力し、消防行政に多大な貢献をしている。

わさき のりこ  
○和崎 法子

山口県・武久地区女性防火クラブ 会長

平成 8 年 4 月に武久地区婦人防火クラブ（現 武久地区女性防火クラブ）会長に就任以来、「防災フェア」や「消防出初式」、「春・秋季火災予防運動」における街頭広報等、消防における諸行事に率先して参加するとともに、住宅用火災警報器の設置促進、消火訓練等、地域の防火防災活動に積極的に取り組み、地域住民の防火意識の高揚及び隣保共助体制の確立に努めている。

また、令和 4 年度から 2 年間、下関市婦人防火クラブ連合会（現 下関市女性防火クラブ連合会）会長に就任し、各クラブ間の連絡調整をはじめクラブ連合会の運営、消防行事への参加督励等、自身の所属するクラブはもとより、各クラブの活動の活性化に大きく貢献している。

うめざき てるしげ  
○梅崎 輝繁

福岡県・柳川市防災協会 監事

平成 12 年柳川市防災協会理事に就任、平成 23 年から監事として会長を補佐、責任感が強く豊富な経験と見識の広さにより会員の信頼を集め、協会の融和・発展に尽力している。

また、消防行政への理解は深く、様々な各行事を通して自ら率先して会員事業所及び地域住民への防火思想普及啓発を行うと共に、地域の指導者として安全で安心できる街づくりに多大な貢献をしている。

さだ ふみお  
○佐田 文夫

福岡県・三井・小郡地区防災協会 会長

平成 6 年、三井・小郡地区防災協会の役員に就任後、平成 24 年からは副会長、さらに令和 2 年からは会長として現在に至るまで、32 年間という長きにわたり役員を歴任され、豊富な識見と卓越した指導力により協会の育成発展に尽力している。

また、協会のスローガンである「災害のない、明るく住みよいまちづくり」を常に念頭に置き、協会主催の各種事業を積極的に推進し、特に防火防災に関する各種事業を開催する際には、自ら先頭に立って地域住民に参加を呼びかけ地域住民の防火防災意識の高揚を図るなど、地域防災力の向上に尽力し、地域の安全・安心の確立に多大な貢献をしている。

とみなが しんぎぶろう  
○富永 新三郎

東京都・荒川防火管理研究会 会長

氏は、株式会社新吉の代表取締役として業務に精励する傍ら、荒川防火管理研究会（以下「防火管理研究会」という。）において、平成18年10月から常任理事に、平成19年5月からは会長に就任し現在に至っている。この間、20年余りにわたり、その豊富な識見と卓越した指導力で会員事業所のみならず、東京消防庁荒川消防署管内における事業所の防火管理体制の強化、自衛消防技術の向上に尽力するとともに、まちの安全・安心に寄与しており、その功績は多大である。

更に、荒川消防署と連携を図りながら、防火対象物における防火防災対策、自主防火の推進及び地域の防火防災安全の推進並びに住民の防火意識の啓発・向上にも貢献している。これらの業績に対しては、会員のみならず消防機関や住民からも厚い信頼を得ている。

にのみや さゆり  
○二宮 小百合

愛媛県・愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会 理事

平成16年4月に南久米婦人防火クラブ員となり、地域の防火防災啓発活動に努め、平成29年に大洲市・内子町婦人防火クラブ連絡協議会会長に就任し、同クラブの発展に寄与した。

当初より、家庭における防火思想の普及、啓発を図るため、研修会や各種災害訓練、救急訓練等に積極的に参加し、防火意識の向上に努め地域に多大な貢献をしている。

また、平成29年5月から2年間及び令和3年から4年間は愛媛県婦人防火クラブ連絡協議会副会長の要職に就き、防火、防災の意識を高めるため、大洲市・内子町婦人防火クラブ連絡協議会の会員を対象とした防火・防災に関する研修会を開催するなど、地域防火、防災力の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の規範である。

## 団体の部

### ○じょうぜんじ ほいくえんようねんしょうぼう城前寺保育園幼年消防クラブ

(園長 皆川 節子)

所在地 神奈川県小田原市

昭和 61 年 7 月 1 日に幼年消防クラブを設立し、以降約 40 年にわたり、火災予防の推進と防火思想の普及を目的に活動してきた。また、小田原市消防本部が行う広報活動に協力するとともに同園幼年消防クラブの園児により地域住民に火災予防を呼びかけ、市全体の防火意識が向上し、火災の減少に貢献をした。火災件数は 20 年前と比較すると 15 件減少し、住宅用火災警報器の設置率は 10 年前と比較すると 5 パーセントの向上が認められる。これは広報活動を継続してきた成果である。

### ○だいしょうかせいかぶしがいしゃ大商化成株式会社

(代表取締役社長 加山俊哉)

所在地 大阪府枚方市

昭和 38 年 8 月に大阪市城東区に創業され、昭和 42 年に枚方市にシンナー専門工場を建設し全面移転し、以降従業員に対する防災教育の徹底を図るとともに、火災予防の普及を図るという協会の目的に賛同し、枚方市防火協会に入会する。

現在、同協会の常任理事として消防署が行う火災予防の普及啓発活動や救命講習等に積極的に協力するなど、消防機関が行う予防行政等を側面から支援しており、枚方市の火災等の事故防止に多大な貢献をしている。

にほん せいぞうかぶしきがいしゃ  
○日本スピンドル製造株式会社

(代表取締役社長 近藤 茂雄)

所在地 兵庫県尼崎市

当事業所は、大正7年4月に事業を開始して以来、独自の技術で産業分野に貢献する産業機械事業、地球環境の保全とリサイクルに貢献する環境事業、環境づくりと、製造プロセスの最適化の為に空調・冷熱事業と様々な分野を通して暮らしを支えている。

これら商品の製造工程に危険物の取り扱いは不可欠であるが、総合的な安全確保及び環境への配慮には特段の注意を払っており、企業の社会的責任を果たしている。

また、行政が推進する防火防災事業にも積極的に参画するとともに、尼崎市内の事業所により構成されている尼崎市防火協会において役員を歴任するなど、地域防災力の向上にも貢献している。

みょうだにち くぼうさいふくし  
○名谷地区防災福祉コミュニティ

(委員長 中西 政嗣)

所在地 兵庫県神戸市

阪神淡路大震災の教訓から平成15年に結成され、地域内のふれあいのまちづくり協議会、自治会、老人会、婦人会、小学校PTA、民生児童委員、青少年育成協議会、こども会、消防団などで組織されている。

大規模災害時は、共助のため、災害情報の収集伝達、災害対応活動の指揮及び支援、初期消火、避難誘導、給食給水、避難所運営を行うことから、普段から防災知識の啓発と普及、防災資機材の管理、地域内の情報収集、訓練の計画と実施、福祉活動と防災活動の連携等を目的としたネットワークづくりに精力的に取り組んでいる。

かすやほくぶちくぼうさいきょうかい  
○粕屋北部地区防災協会

(会長 徳永隆司)

所在地 福岡県古賀市

昭和 62 年 9 月 1 日に 141 の事業所により発足し、自主防災体制の強化及び防火思想の普及を推進するとともに、事業所相互の融和と協調、安全と社会公共の福祉の増進を目的として活動している。事業は、自衛消防隊員としての自覚と自社愛の精神の涵養を目的とした新入社員講習会、各種研修会の実施、事業所の防災体制の確立を目的とした訓練競技会、地域住民の防火意識の高揚を目的とする各種イベント等を通して防火思想の普及と高揚を目的とした広報活動などを実施し、「広げよう地域の輪と防災の○(わ)」をスローガンに会員事業所に限らず、地域住民へと呼びかけている。

令和 9 年度に 40 周年を迎えるが、地域への貢献は誠に多大である。

あぶらぎとうぶだい だい じょせいぼうか  
○油木東部第 1・第 2 女性防火クラブ

(代表 川村 富佐子)

所在地 長崎県長崎市

昭和 52 年 12 月に油木町東部自治会区域における火災予防の推進と防火思想の普及徹底を目的に結成された。結成以来、火災予防の原点である「自分の家は、自分で守る」という高い意識のもとに、当市が実施する消防出初式をはじめ、女性防火クラブ幹部研修会や市民防火のつどい等各種行事に積極的に参加し、会員の防火防災意識の高揚に努めている。

また、火災予防運動期間中の防火広報や地域で行われる防火防災訓練、救急講習等にも率先して参加するなど幅広い活動を展開するとともに、火災予防を地域住民に呼びかけるなど、地域の防火防災意識の高揚に大きく貢献し、自主防火防災体制の中心的存在として活動している。

かぶしがいしゃ  
○株式会社フジバンビ

(代表取締役社長 松本 順次)

所在地 熊本県熊本市

昭和 51 年の設立以来、約半世紀の長きにわたり「防火・防災」を最重要課題として地域社会に貢献してきた。日常・月次の点検を徹底し、有事に備えた隙のない管理体制を維持している。

特に、ソフト面の強化による自衛消防力の向上が顕著である。訓練では困難な状況を想定した実践的なシナリオを導入し、職員一人ひとりの危機管理意識を醸成している。こうした地道な積み重ねにより、職員が高度な知識と意識を共有する強固な組織体制を構築した。長年の真摯な取り組みと優れた防火管理体制は、他の模範である。

かなまちぼうかかんりけんきゅうかい  
○金町防火管理研究会

(会長 天宮 久嘉)

所在地 東京都葛飾区

昭和 37 年 3 月に設立され、設立当初から今日まで東京消防庁金町消防署管内の防火管理者相互の研究団体として活動を続けている。会の目的の一つである防火防災事業の推進については、事業所の防火管理者に必要な知識や技術の習得、消防用設備等の適正な維持管理をはじめ、自衛消防訓練等に対する情報提供など広く実施しており、防火対象物の安全対策の推進に多大な貢献をしている。

更に、地域における火災予防広報活動や防火防災訓練への支援などを通じた地域住民の防火防災意識の醸成、並びに視察研修会の実施やはたらく消防の写生会の支援を通じた会員及び次世代の育成など人材育成にも貢献している。

いっばんしゃだんほうじんしがけんぼうかほあんきょうかいれんごうかい  
○一般社団法人滋賀県防火保安協会連合会

(会長 白井 幸則)

所在地 滋賀県大津市

昭和 50 年 2 月の設立以来、今日までの長年にわたって、消防用設備等の設置及び適正な維持管理の推進をはじめ、危険物取扱者や消防関係技術者（消防設備士、消防設備点検資格者等）の指導育成、火災予防思想の普及啓発、地域の防災活動等への参加等、各種事業を積極的に展開し、安心・安全な地域社会づくりに取り組んでいる。これらの活動を通じて滋賀県民に対する防火、防災意識の高揚に多大な貢献をしている。

## 消防功労者総務大臣表彰を受賞した消防団員 及び女性防火クラブ員

### 消防団員

○たなか田中 じゅんいち純一

北海道・釧路北部消防事務組合標茶消防団 団長

昭和 53 年の入団以来、48 年余の長きにわたり、一貫して消防使命の重要性を深く認識し、地域住民の生命、身体及び財産の保護に尽力してきた。消防団長として優れた状況判断力と統率力を発揮し、自然災害時には自ら陣頭指揮に当たり、人的被害の防止及び被害軽減に大きく貢献した。また、消防団員確保対策を積極的に推進し、令和 8 年には入団者数の増加に大きく寄与するなど、地域消防力の維持強化に尽力した。さらに、令和 4 年 6 月から 4 年間、北海道消防協会副会長として消防団活動の発展と消防力向上に貢献しており、その功績は誠に顕著である。

## 女性防火クラブ員

### ○安養寺 のり子

高知県女性防火クラブ連絡協議会 副会長

平成 13 年 4 月、安芸市女性防火クラブ発足と同時に入会以来、豊富な知識と経験並びに旺盛な実践力をもって火災予防の啓発活動に率先して取り組み、その推進に尽力している。地区班長、副会長を経て平成 21 年 5 月に会長に就任し、退任後も副会長として会長を補佐しつつ活動を継続している。平成 25 年 5 月には高知県女性防火クラブ連絡協議会副会長に就任し、県下全域における防火思想の普及啓発にも寄与している。温厚篤実で責任感旺盛な人柄のもと、防火パレードや住宅用火災警報器の普及、防災訓練等に積極的に取り組み、地域防災力の向上に大きく貢献している。これらの功績により、令和 6 年 11 月、日本防火・防災協会会長表彰を受賞した。

### ○佐藤 菊子

岩手県女性消防連絡協議会 副会長

昭和 52 年 3 月に住田町婦人消防協力隊に入隊し、平成 29 年 4 月から同協力隊隊長に就任。平成 31 年 4 月からは岩手県婦人消防連絡協議会常任委員に、そして令和 2 年 4 月には同協議会副会長に就任し、長年にわたり豊富な識見と旺盛な行動力や指導力により会の育成発展を通して防火思想の普及・啓発に尽力するとともに、令和 7 年 12 月には同協議会の研修会において大規模林野火災の支援活動等に関する講義をするなど、協議会構成員はもとより消防関係者の信頼も厚く、地域の安全・安心な街づくりの推進に多大な貢献をしており、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

てらさき  
○寺崎 いくえ

富山県女性防火クラブ連絡協議会 会長

昭和 61 年、富山市奥田北校下婦人防火クラブ（現奥田北校下女性防火クラブ）発足時から、率先して地域での防火活動に積極的に参加し、平成 14 年に同クラブの委員長に、令和 5 年には富山県女性防火クラブ連絡協議会の会長に就任し、地域の安全確保に多大な貢献をしている。

富山県女性防火クラブ連絡協議会会長就任後は、火災予防における主婦の役割を重要視し、主婦層を中心とした各種研修会の開催やクラブ員の育成などにより家庭における防災思想の普及啓発を行うほか、消防団等と協力して防災訓練に積極的に参加することで地域住民の防火防災意識の高揚に努めるなど、地域防災力向上の牽引者としての功績は誠に顕著であり、他の模範である。

総務大臣表彰の種類		受賞者数	計
安全功労者表彰	個人	20	29
	団体	9	
消防功労者表彰	消防団員	1	4
	女性防火クラブ員	3	